# 5. 歴史公園の整備概要

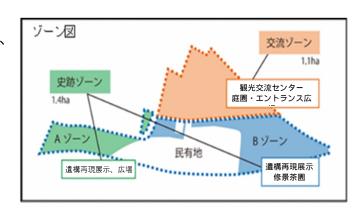
# (1) 歴史公園の整備概要

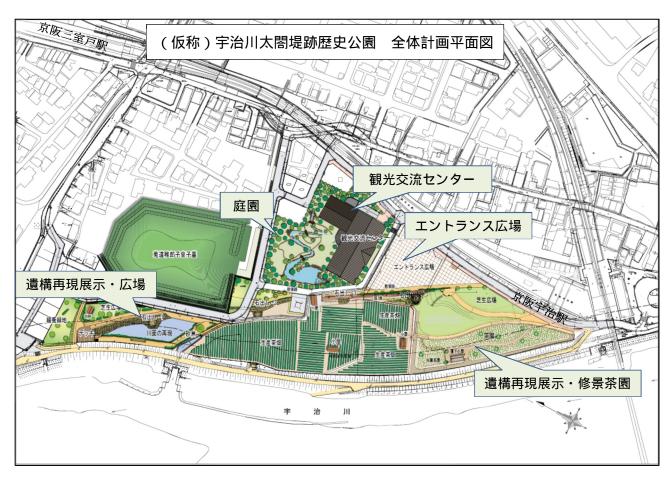
【施設名称】 (仮称)宇治川太閤堤跡歴史公園

【面 積】 約2.5ha (史跡ゾーン 約1.4ha、交流ゾーン 約1.1ha)

# 【各ゾーンの整備内容】

(仮称)宇治川太閤堤跡歴史公園は、「史跡ゾーン」と「交流ゾーン」の2つのゾーンに分けて整備します。





整備概要は今後詳細設計を進めるなかで変更となる場合があります。また、交流ゾーンを PFI 事業として実施する場合は事業者の提案により変更となる場合があります。

### (2) 史跡ゾーンの整備概要

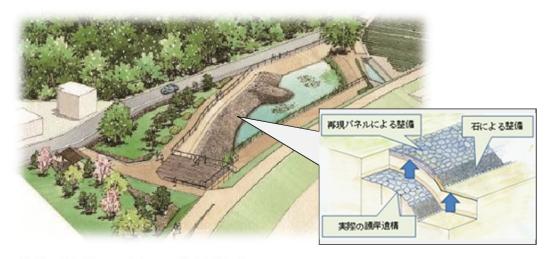
史跡ゾーンでは、国史跡宇治川太閤堤跡の遺構を安全に保存するとともに、護岸遺跡が築造されてから埋没していく歴史的変遷や護岸の連続性・スケール感が伝えられるような整備を行います。Aゾーンでは太閤堤が宇治川護岸として機能していた安土・桃山時代の様子を、Bゾーンは護岸が砂に埋もれてしまった江戸時代から明治時代の様子を再現します。



整備概要は今後詳細設計を進めるなかで変更となる場合があります。また、交流ゾーンを PFI 事業として実施する場合は事業者の提案により変更となる場合があります。

# Aゾーンの整備(遺構再現展示・広場)

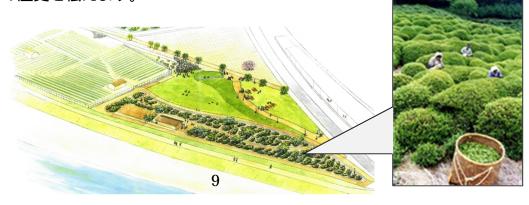
A ゾーンでは、現物遺構の直上に復元文化財として遺構を再現することとし、太 閣堤前面の水辺空間と合わせて築堤当時の姿を再現します。



#### Bゾーンの整備(遺構再現展示・修景茶園)

Bゾーンでは、太閤堤が造られた後に時間の経過とともに砂州が形成され、茶園として利用された時代を再現するとともに、茶摘み体験が行える修景茶園として整備します。

現代茶園とは異なる歴史的な茶園景観を再現するため、茶の木の配列を列状ではなく、絵図等に見られるような島状にし、太閤堤の埋没期の姿を再現するとともに、宇治茶の歴史を伝えます。



# (3) 交流ゾーンの整備概要

交流ゾーンは「観光交流センター」「庭園」「エントランス広場」の3つのエリアで 構成します。

観光交流センターは、宇治の歴史や文化、宇治茶の魅力を発信するための施設とし、 庭園やエントランス広場は、歴史公園を訪れる市民や観光客の憩いの空間としての整備を行います。



整備概要は今後詳細設計を進めるなかで変更となる場合があります。また、交流ゾーンを PFI 事業として実施する場合は事業者の提案により変更となる場合があります。

# (4) 観光交流センターの整備概要

観光交流センター内にはミュージアム、宇治茶体験室、エントランスホール、レストラン・喫茶、ミュージアムショップ、講座室・会議室などを配置し、施設全体として宇治の歴史や文化、宇治茶の魅力を発信するための整備を行います。

#### ミュージアム

ミュージアムでは、宇治の周遊観光に結び付ける「宇治茶と宇治の歴史・文化」の情報発信や、「宇治のまち」の歴史物語の伝承、「宇治茶」の価値、「宇治川太閤堤跡」の歴史的価値の情報発信を通して宇治の歴史をわかりやすく紹介することで、現在の宇治の魅力への理解を深め、宇治観光への興味・関心へとつなげる展示とします。

#### 宇治茶体験室

宇治茶体験室では、茶業専門家等との連携により宇治茶に関する様々な体験メニューを提供し、団体客にも対応できる規模としています。

#### エントランスホール

歴史公園に訪れた市民や観光客をもてなし、憩いくつろげる空間を提供します。

## レストラン・喫茶

歴史公園を訪れる市民や観光客に食事の場を提供し、団体客にも対応できる規模 としています。

## ミュージアムショップ

宇治の歴史や文化に関する土産物等を販売することで賑わいを創出し、歴史公園を訪れる市民や観光客の満足度の向上を図ります。

また、今後の事業者からの提案により、歴史公園のオリジナルグッズの販売など 様々な運営が期待できます。

## 講座室・会議室

宇治の歴史や文化に関する講座、講演、イベントなどが開催できる講座室や会議室を配置します。

## その他

歴史公園を訪れる市民や観光客が利用するトイレや施設管理に必要な事務室、機械室、倉庫などを配置します。